

## 🍀 グリーンプロダクツ認定制度 🍀

安川グループは製品を通じて、お客様の生産性・省エネ性を飛躍的に向上させ、世の中の環境負荷を低減していくために「グリーンプロダクツ認定制度」を導入しました。

製品による環境貢献度を「地球温暖化防止」「省資源・リサイクル」「化学物質適正管理」の3つの視点で点数評価し、一定の基準を満たす製品を「グリーンプロダクツ」、業界最高水準の環境性能を発揮する製品を「スーパーグリーンプロダクツ」として認定しています。認定したグリーンプロダクツには、カタログ、WEBサイトなどにシンボルマークを表示します。



### 安川グループ グリーンプロダクツ認定 シンボルマーク

エネルギー変換効率に優れたグリーンプロダクツをグローバルに提供し、持続可能な社会の実現を目指すことをイメージしています。

● お問い合わせ先：生産・業務本部 環境推進部 TEL: 093-645-7770 FAX: 093-645-7830



選手詳細情報は陸上部ホームページ「草魂」で公開中！ <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html>

## ロードレースの本格シーズンに突入

陸上競技長距離選手にとって、成果を披露する季節となり、当社陸上部も各方面の大会に出場しました。

全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)に向けた仕上げ具合を確認するために、11月27日の熊本甲佐10マイル公認ロードレースに6名の選手が出場しました。このレースには、多くの実業団チームの選手が出場し、ニューイヤー駅伝の前哨戦のような顔ぶれとなりました。雨のコンディションをものともせず、9月から好調を維持している古賀淳紫選手がスタート直後から2位集団に付き、最後まで緊張感のあるレースを行いました。結果、久保田大貴選手が昨年出したチーム記録にあと5秒と迫る好記録で6位入賞を果たしました。同じく好調な井上拳太郎選手も続き、初レースながら11位と健闘。中本健太郎選手、高橋尚弥選手もこれに続く走りで、駅伝本番に向けチームとしてコンディションの良さを感じられました。

翌週には、伝統の福岡国際マラソンに黒木文太選手が出場しました。中間点まで先頭

集団でレースを進めることができました。23km地点で先頭のペースが上がった時に遅れをとりましたが、19位と最後まで粘りの走りを見せました。

チームとして最大の目標である元日のニューイヤー駅伝では、1区を古賀選手が序盤から5位付近と好位置でレースを進め、後半に先頭に立つシーンも見せるなど完璧な走りです。区間1位から11秒差の14位でタスキを繋ぎました。2区マミヨ・ヌグゼ選手は外国人が集まるインターナショナル区間で順位を6つ押し上げ、3区の佐護啓輔選手にタスキ中継。ここで順位を19位まで大きく落としましたが、4区中本選手で2つ順位を押し上げ、5区高橋選手で10位集団とのタイム差を大きく縮めました。6区で出場が危ぶまれた黒木選手が順位を5つ押し上げ12位へ。この順位をキャプテンの久保田選手が接戦の中死守して12位でフィニッシュしました。目標の8位以内には届かなかったものの、次回以降に期待を待てる結果となりました。



ラスト勝負を制し、12位でフィニッシュした久保田大貴選手(ニューイヤー駅伝より)

### ◆ 2016年11月～2017年1月の主な戦績

日程	大会名	成績
11月 27日	熊本甲佐10マイル公認ロードレース	古賀淳紫選手6位(自己新記録)、井上拳太郎選手11位(初レース)、中本健太郎選手20位(自己新記録)、高橋尚弥選手27位(初レース)、久保田大貴選手63位、渡邊一磨選手76位
12月 4日	福岡国際マラソン選手権大会	黒木文太選手19位
1月 1日	全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)	チーム12位 ※()内は区間順位 1区:古賀淳紫選手(14位)、2区:マミヨ ヌグゼ選手(8位)、3区:佐護啓輔選手(28位)、4区:中本健太郎選手(17位)、5区:高橋尚弥選手(6位)、6区:黒木文太選手(7位)、7区:久保田大貴選手(18位)